



きゅうりを作っているおじさんの話



きゅうりを作るようになったのは、およそ40年前ごろからです。

そのころは、農家では、米・麦・ようさんがさかんでした。ところが麦とようさんは、作ってもあまりお金にならなくなりました。そこで、畑をりょうしてきゅうりを作り、東京方面に売り出したところ、高く売れるようになったのです。

はじめは、支柱を使わない、じばいきゅうりでしたが、竹で支柱を立てきゅうりを作るようになりました。